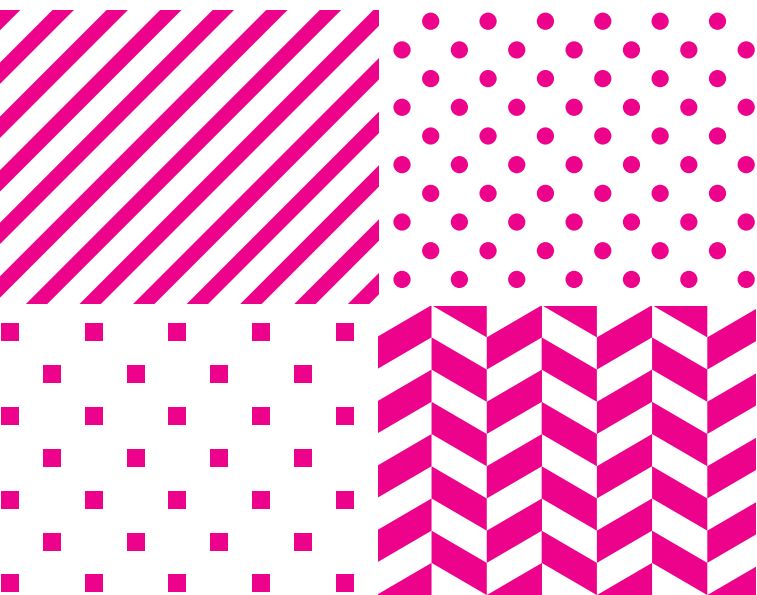


## Quick Start Guide

ようこそ! ライブ・フォー・ウェブライフ2へ。

この冊子にはLIVE2でのウェブ制作の流れをコンパクトにまとめて紹介しています。LIVE2が実現している便利な機能や使い勝手を確認するのにお役立てください。詳細な操作説明についてはオンラインマニュアルをご活用ください。

<http://www.digitalstage.jp/support/live2/>



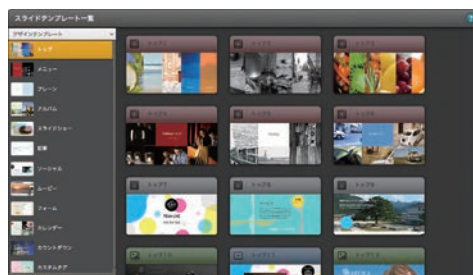
## LIVEでのサイト作成の流れ

### 1 サイトシアターを表示する



LIVEを起動し、「サイトの新規作成」ボタンからサイトを作成します。  
> サイトシアター

### 2 スライドを選ぶ



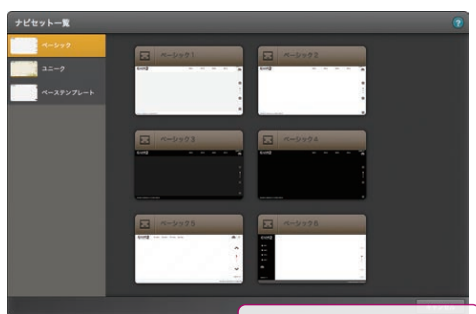
スライドテンプレートからページに挿入するスライドを選択します。  
> スライドテンプレート一覧

### 3 スライドを編集する



ページ内に並べる「スライド」を編集します。  
> ページエディタ

### 4 ナビセットを選ぶ



ページ内を移動するナビゲーションをまとめて選択します。  
> ナビセット

### 5 ウィジェットを追加



バルーンなどの「ウィジェット」を配置してページをカスタマイズ可能。  
> ウィジェット

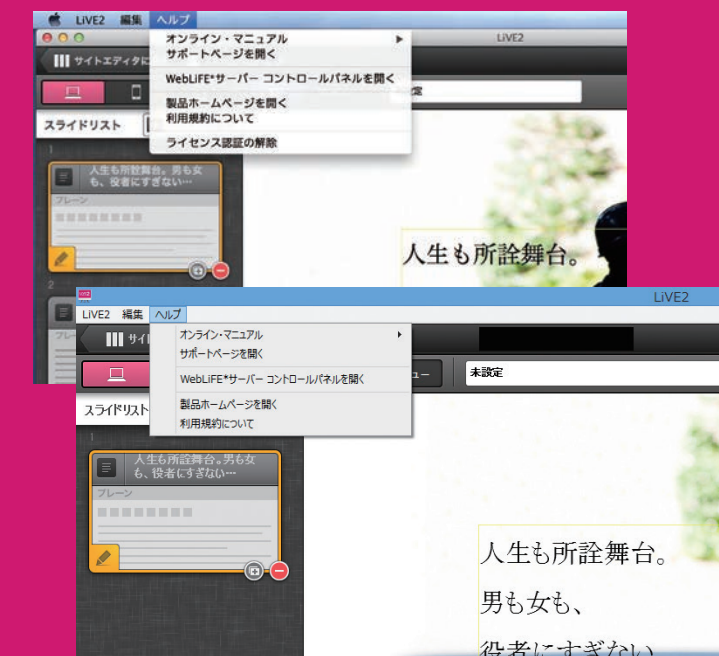
### 6 簡単にアップロード



サーバの設定からアップロードまで簡単にできます。  
> サイト設定

## オンラインマニュアルのご案内

[ヘルプ]メニューから[オンライン・マニュアル]を選択すると、公式サポートサイトのオンライン・マニュアルが開きます。LIVE2の全機能や使い方の解説をチェックすることができます。また、サポートサイトではFAQやトラブルシューティングも公開しています。



<http://www.digitalstage.jp/support/live2/>

\*本ガイドの画像は開発中のものを含んでいます。

## 01 スライドテンプレートの選択

> サイトシアター・サイトエディタ・ページエディタ

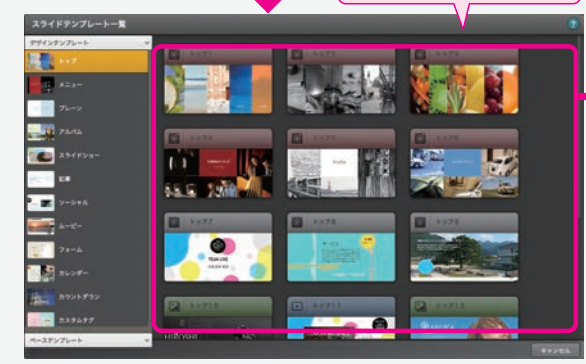
LIVE2を起動して最初に表示されるのが「サイトシアター」です。この画面右上にある「サイトの新規作成」をクリックすると、新しい白紙のサイトが作成されて「スライドテンプレート一覧」が表示されます。ここから最初のスライドを選び、ページに挿入します。



サイトの作成や管理を行います

「サイトシアター」ではサイトの管理のほかにチュートリアル映像やデジタルステージからの告知を確認できます。

テンプレートを選んでスライドを追加します



スライドテンプレート一覧から挿入したいスライドを選択します。



スライドが挿入されました

03へ スライドリストから編集したいスライドを選びます。  
02へ 直接テキストを編集できます。

### スライドの種類

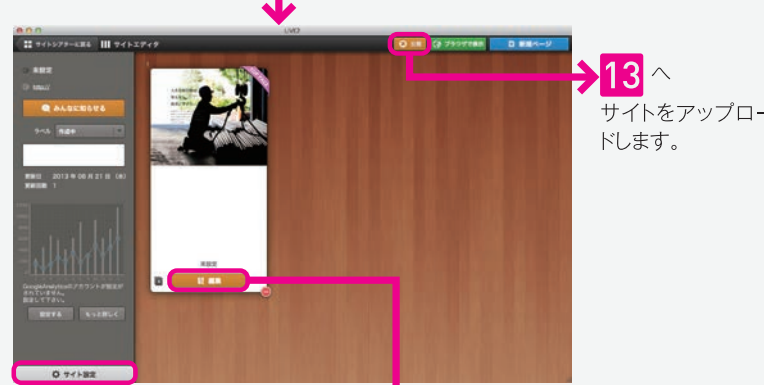
- **トップ**  
サイトの顔となる最初のスライドとして使用するのに適したスライドです。
- **メニュー**  
2つ以上のリンク先に、サイトの閲覧者を誘導する時に使用します。
- **ブレーン**  
タイトルと本文だけのシンプルなスライドです。
- **アルバム**  
複数の写真を見せるためのスライドです。
- **スライドショー**  
複数の写真を自動的に切り替えていくスライドです。
- **記事**  
複数の記事を表示できるスライドです。
- **ソーシャル**  
TwitterやFacebookを通じてコミュニケーションを取りたい時に使用します。
- **ムービー**  
YouTubeとVimeoにアップロードしたビデオを表示するスライドです。
- **フォーム**  
Google Driveを使用してお問い合わせやアンケートフォームを作ります。
- **カレンダー**  
スライド上にカレンダーを表示してスケジュールなどを提示できます。
- **カウントダウン**  
カウントダウンタイマーを設置できるスライドです。ティザーサイトなどに有効です。
- **カスタムタグ**  
任意のHTMLコードを挿入できるスライドです。

## 作成済みのサイトを開く

サイトを作成すると、サイトシアターにマイサイトとして追加されていきます。サイトを編集したいときは、マイサイトを選んで「編集」をクリックします。



作成したサイトがサイトシアターに追加されます



13へ サイトをアップロードします。

12へ サイトの各種設定を行います。

02へ ページエディタ画面でページを編集します。

## 02 見たまま編集

> ページエディタ

追加したスライドのテキスト部分をクリックすると、書式設定用のツールバーが表示され、直接テキストを修正することができます。文字サイズや太字・斜体などの書式もそのまま設定可能です。また、テキストなどのパーツの左下に表示される配置ボタンを利用して、スライド上の配置も手軽に変更できます。



テキストエリアをクリックするだけで、文字入力や書式設定を行うことができます。



配置ボタンを使って、スライド上のパーツの位置をコントロールします。

表示位置

スライドのテキストはスライドエディタからも編集可能です 03へ

## 03 スライドを編集する

> スライドエディタ (編集)

スライドリストで編集したいスライドをクリックすると、その左下に鉛筆マークが表示されます。このマークをクリックすると「スライドエディタ」が開きます。スライドエディタの「編集」タブでは、各スライドに配置するテキストや写真、動画などを編集できます。スライドの設定項目は、スライドの種類によって異なります。



例えば「ブレーン」の場合

スライド内の文字や画像などを編集

04~06へ スライドの編集を行います。

スライドのメインタイトルを入力、スライドリストでは各スライドの見出しに表示されます。

スライドの中に表示される本文テキストを入力します。

編集が完了したら「適用」をクリックしてスライドエディタを閉じます。

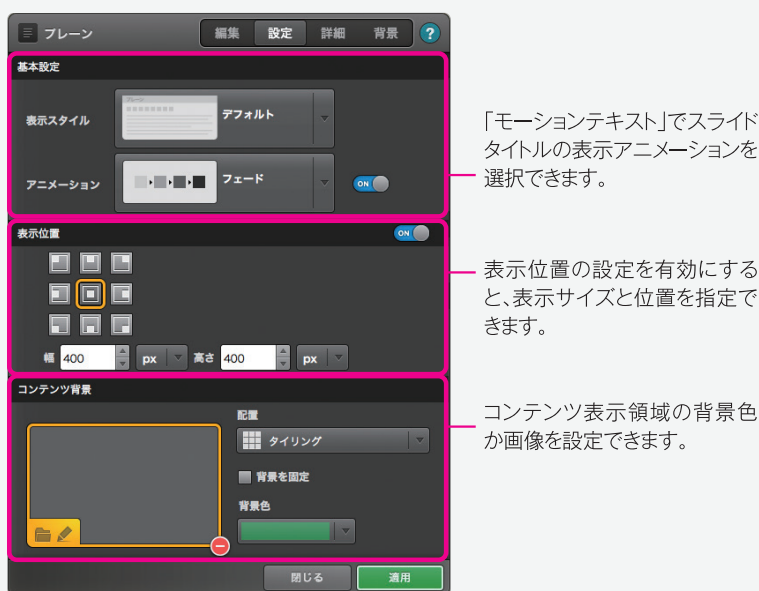
\*スライドショーの場合は写真の登録、カレンダーの場合はGoogleカレンダーのXMLアドレスといったように、スライドの内容に応じた編集項目が用意されています。ただし「スライドタイトル」と「スライド本文」はすべてのスライドに共通しています。

## 04 スライドのスタイルなどを変更

> スライドエディタ (設定)

スライドエディタの「設定」タブをクリックすると、スライドの各種設定を行う画面に切り替わります。スライドのタイプに応じた表示スタイルをはじめ、表示位置、スライドのコンテンツ表示領域の背景などを設定します(※)。

※ブラウザウインドウの背景の設定は、「背景」タブで行います 05へ



「モーションテキスト」でスライドタイトルの表示アニメーションを選択できます。

表示位置の設定を有効にすると、表示サイズと位置を指定できます。

コンテンツ表示領域の背景色が画像を設定できます。

例えば「ブレーン」の場合

スライドの表示スタイルは、スライドのタイプによって選択肢が異なります。「ブレーン」スライドの場合は「デフォルト」「左レイアウト」「右レイアウト」の3種類です。

## 05 スライドの詳細なスタイルを設定

> スライドエディタ (詳細)

スライドエディタの「詳細」タブをクリックすると、表示領域に枠線をつけたり、枠との間隔などを設定することができます。設定できるスタイルは「ボーダー」「マージン」「パディング」の3種類です。



ボーダーでは枠線の色や太さ、種類を設定します。

マージンでは枠線の外の余白を設定します。

パディングでは枠線と中のテキストの余白を設定します。

詳細スタイルの設定例



## 06 スライドの背景を設定する

> スライドエディタ (背景)

LIVEでは、スライドが表示されているブラウザのウインドウ全体の背景を変更することも可能です。設定は、「背景」タブをクリックすると表示される画面で行います。「背景画像(後)」と「背景画像(前)」の2枚を設定でき、さらに「パララックス」を有効にすると、スクロール速度に差を付ける「パララックス」という視差効果を表現できます。



後の背景は、背景に使用する画像とその配置などを設定します。

設定を有効にするとパララックスを設定できます。

後の背景と同様に前の背景画像を設定できます。

BGアニメーションで背景にアニメーションを設定できます。

「適用」後、プレビューに切り替えると、背景が重なっているのがわかります。「パララックス」が有効なら、背景画像のスクロール速度が異なることも確認できます。



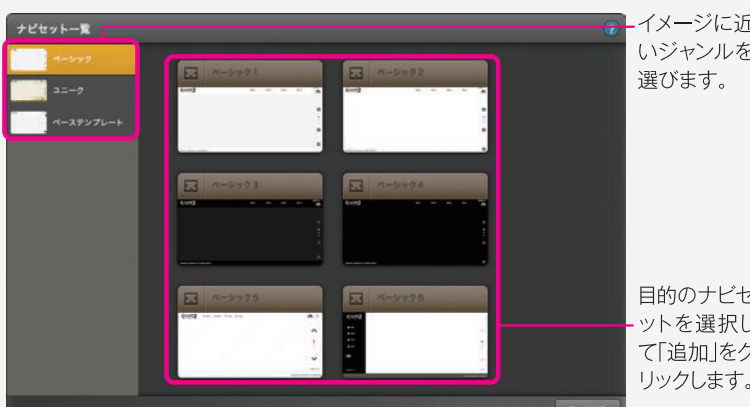
## 07 ナビやウィジェットの追加

>ナビセット、ウィジェット

LIVEサイトにさまざまな機能を加える「ウィジェット」をスライドに配置します。スライド間、ページ間を移動するための「ナビゲーション」用のウィジェットは、「ナビセット」を選択するだけでまとめて配置できます。

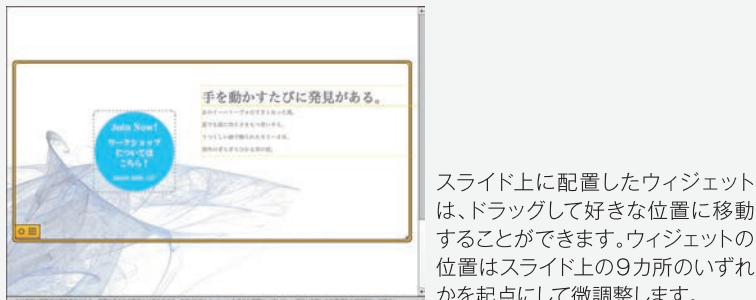
### ナビセット一覧

ページエディタ右上の「ナビセットの変更」をクリックして、ナビセット一覧を表示します。



## さまざまなウィジェット

ナビゲーション用ウィジェットの他にも、リンクを貼るための「バルーン」やFacebook、TwitterなどのSNSを利用するためのウィジェットなどさまざまなものがあります。ページエディタの「ウィジェット」の追加をクリックすると、ウィジェットを選ぶ画面が表示されます。



### 主なウィジェットの種類

- バルーン
- カウントダウン
- リッチテキスト
- Facebook
- Twitter
- サウンド
- ドットナビ/方向ナビ

## ウィジェット(編集)

ページエディタで編集したいウィジェットをクリックすると、その下側に「編集」が表示されます。このマークをクリックすると、「ウィジェット編集画面」が開きます。「編集」タブでは、各ウィジェットのテキストや写真、リンク、オプションなどを設定できます。ウィジェットの編集項目はウィジェットのタイプによって異なります。

### 例えば「バルーン」の場合



バルーンの画像をクリックした際のリンク設定を行います。

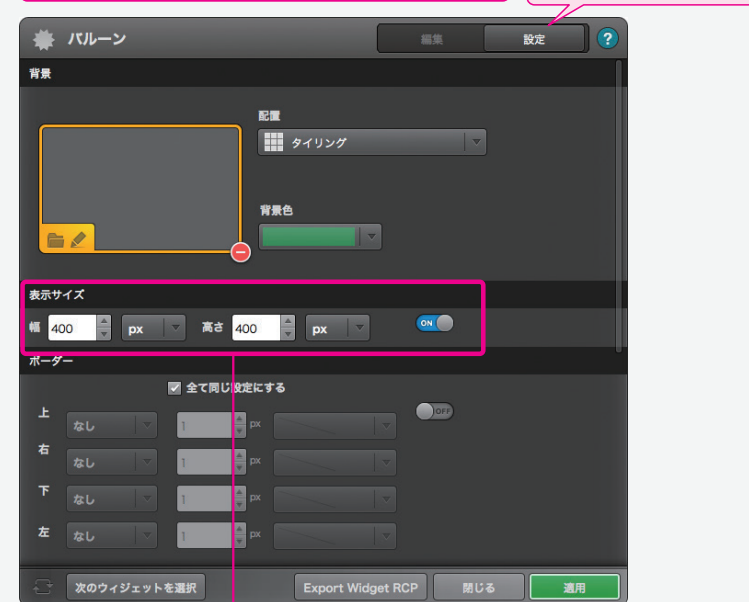
バルーンの場合は、表示する画像を設定します。さらに鉛筆マークをクリックするとSIGN Proによる画像編集ができます。

※カウントダウンの場合は終了の日時、Facebookの場合は「いいね」の対象となるページといったように、内容に応じた編集項目が用意されています。ただし「表示位置」はすべてのウィジェットに共通した項目です。

## ウィジェット(設定)

「ウィジェット編集画面」の上部にある「設定」タブをクリックすると、ウィジェットの各種設定を行うことができます。ここでは、ウィジェットの背景に配置される画像や背景色、ウィジェット自体のサイズや境界線などを設定することができます。

### 「設定」の項目は全ウィジェット共通

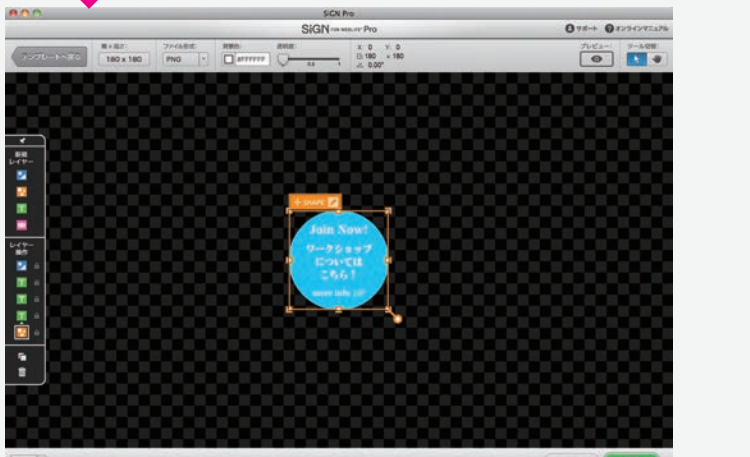


ウィジェットの表示位置を設定します。ウィジェット同士の重なりや上下も設定できます。

## 08 画像を編集する

>SIGN Pro

画像を扱う箇所のをクリックすると、LIVEにバンドルされている画像編集ソフト「SIGN Pro」が起動します。SIGN Proは画像のサイズ変更やトリミングを行ったり、円や星形に切り抜いたり、テキストを重ねたりといったさまざまな加工を行うことができます。編集後に「完了」をクリックすると、LIVEに反映されます。



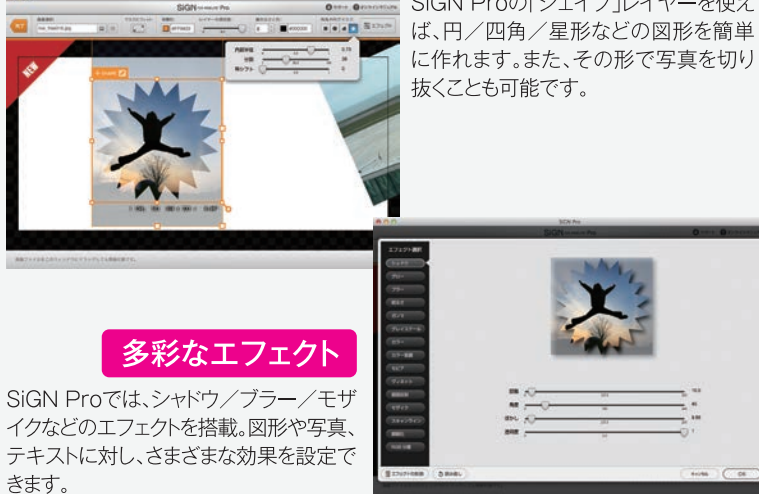
テンプレートの画像を編集できます。また新規に画像を作成することも可能です。

※SIGN Proは、ページやスライド、ウィジェットの背景画像やバルーンで使用する画像の設定で鉛筆マークをクリックして利用できます。なお、SIGN Proで「完了」ボタンをクリックして編集を終えるまで、LIVEの操作はできません。

## 画像の配置・回転



## さまざまな形で画像を切り抜く

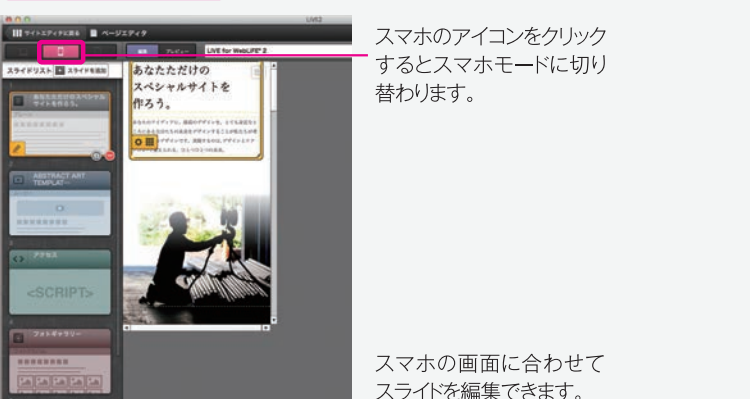


## 11 スマホに合わせて編集する

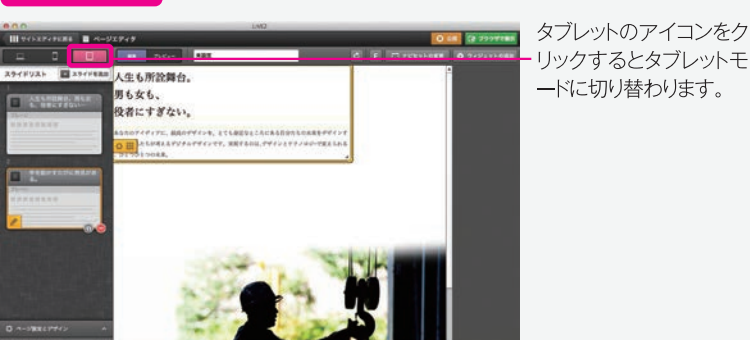
>スマホ・タブレット編集モード

スマートフォン(スマホ)やタブレットではPC用のページをそのまま表示できませんが、画像が画面からはみ出したり、テキストが小さくなってしまいます。LIVE2ではスマホ・タブレット編集モードに切り替えると、スマホ・タブレットそれぞれに合わせてスライドを編集することができます。

### スマートフォン



### タブレット

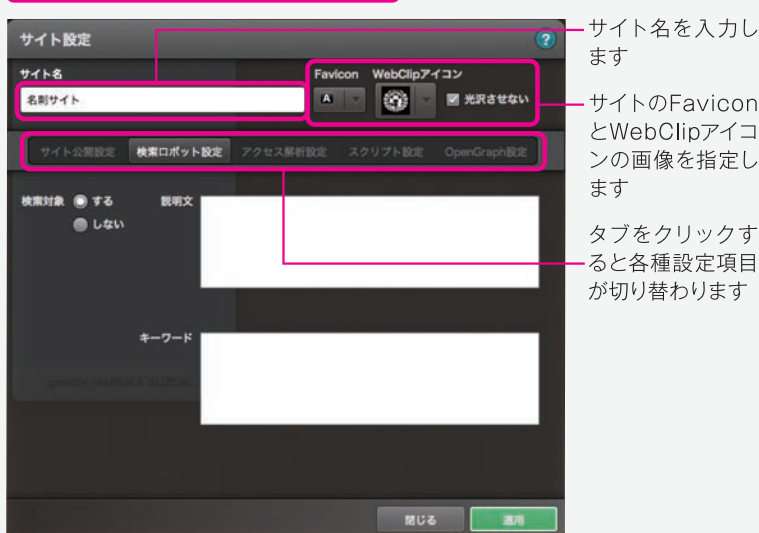


## 12 サイトの各種設定を行う

>サイト設定

「サイトエディタ」の左下にある「サイト設定」をクリックすると、「サイト設定」の画面が開きます。この画面では、「サイト公開設定」「検索ロボット設定」「アクセス解析設定」「スクリプト設定」「OpenGraph設定」などを行います。

### サイトエディタのサイト設定



- 検索ロボット設定: 検索エンジン対策の設定を行います。検索非対称の設定やキーワードの指定ができます。
- アクセス解析設定: アクセス解析のためのGoogle Analyticsのトラッキングコードを埋め込みます。
- スクリプト設定: サイト全体で、JavaScriptを利用したい場合に記入します(上級者向け機能)。※サポート対象外
- OpenGraph設定: FacebookやmixiなどのSNSで利用されているOpen Graph Protocolの設定を行います。

## 09 Webフォントで豊かな表現を

>TYPE for WebLIFE\*

スライドのテキストに設定できるフォントは、通常リストに表示されるフォントの種類しか選べません。しかしTYPE for WebLIFE\*を利用すれば、さまざまな種類の「Webフォント」をテキストに設定できるようになります。ご利用にはWebLIFE\*サーバーへの加入が必要です(※)。



※WebLIFE\*サーバーに加入すると、ベーシックコースは7書体、プレミアムコースは300書体の中から利用できます。

## 10 ページに演出を加える

>ページエフェクト

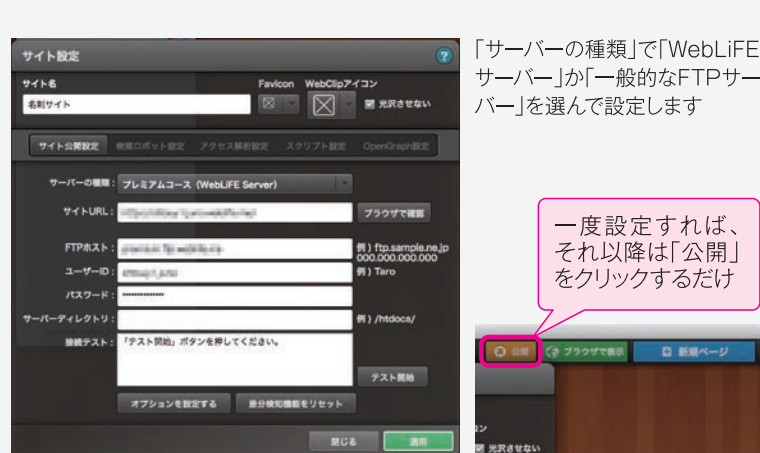
LIVEでは最初のスライドを表示する前に「オープニング映像」として動画を再生したり、スライドの表示中にBGMや効果音を鳴らす「サウンドエフェクト」を設定することができます。



## 13 サーバーを設定して公開する

>アップロード

LIVEにはサーバーへアップロードするためのFTP機能が搭載されています。「サイト設定」の「サイト公開設定」タブを選択して、「サーバーの種類」を選択して、必要に応じてアップロードの設定を行います。一度設定が完了すれば、次回からは「サイトエディタ」か「ページエディタ」の「公開」ボタンをクリックするだけで、更新部分のみをアップロードできます。



### ソーシャルコネク



## WebLIFE\*サーバー

WebLIFE\*サーバーは、BINDサイトとLIVEサイトのために用意された専用サーバーです。容量無制限のベーシックコース、プレミアムコース、プレミアムコース(年間一括)の3つのコースがあります。LIVE2の特典として、ベーシックコースは1年間の無料期間があり、DSビジネス・パスのクーポンを使うとプレミアムコースが3ヶ月無料使用できます。



### Materials

